

レジメン名

modified FOLFOXIRI

出典 Oncology 82:242-248, 2012
J Clin Oncol 25:1670-1676, 2007

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

結腸・直腸癌
 進行・再発
 補助療法(術前)

投与減量の基準

好中球	500/mm ³ 未満	PLT	50000/mm ³ 未満
その他	G2末梢神経障害, G3以上の下痢		

術前補助化学療法としては、エビデンスが乏しいため、症例限定とする。

投与中止の基準

好中球	1500/mm ³ 未満	PLT	75000/mm ³ 未満
その他	治療前にUGT1A1遺伝子多型有無確認 神経毒性、アレルギーに注意 間質性肺障害の有無確認		

1コース期間 14日

総コース数

術前: 4~6コース
進行・再発: PDまで

(次のコースまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
5-FU	2400mg/m ²	持続静注	46時間	day 1
レボホリナート	200mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1
イリノテカン	150mg/m ²	点滴静注	1時間	day 1
オキサリプラチン	85mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
①生食20mL CVポートよりのルート確認用
②アロキシバック(0.75mg)+デキサート9.9mg (15分)
③イリノテカン150mg/m ² +5%糖液250mL (1時間)
④エルプラット85mg/m ² +5%糖液250mL (2時間)
④'レボホリナート200mg/m ² +5%糖液250mL (エルプラットと同時に)(2時間)
⑤生食50mL フラッシュ用
⑥5-FU2400mg/m ² +生食α mL 計100mL (インフューザーポンプ使用にて46時間で投与)
<内服> day1から4日間 ウルソデオキシコール酸(100)3錠 3×毎食後 炭酸水素ナトリウム 1.8g 3×毎食後 (遅発性下痢の予防目的) day2及び3 デカドロン(4mg)2錠 2×朝昼食後 内服 必要に応じて、アプレビタント併用